

令和5年度 学習分析事業 改善計画 三原市立小泉小学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均 (全国を50とする)

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	前年度結果 偏差値平均	/	56.1	54.9	59.3	55	56.3
	本年度結果 偏差値平均	51.4	53.3	55	54.5	48.6	52.5
算数	前年度結果 偏差値平均	/	57.9	58.3	57.6	56.5	57.5
	本年度結果 偏差値平均	52.2	55.5	57.6	57.7	51.8	54.9
理科	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	46.3	46.5	46.4
	本年度結果 偏差値平均	/	/	53.5	57.4	46.8	52.5
全体	前年度結果 偏差値平均	/	57	55.2	54.4	52.7	53.4
	本年度結果 偏差値平均	51.8	54.4	55.3	56.5	49	53.3

②全国学力・学習状況調査 正答率平均 (第6学年対象)

教科	国語	算数
前年度結果 (対県比)	71 (105)	58 (90)
本年度結果 (対県比)	57 (82)	51 (80)

2. 調査から明らかになった課題

【年度当初の学力について】(NRTをうけて)	【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査を受けて)
<p>●国語科の主な課題</p> <p>2年生…説明文・文章に合う図(11%) 3年生…説明文・共通点の考察(0%) 4年生…物語文・詳細読み取り(11%) 5年生… 6年生…聞き取り・役割の理解(28%)</p> <p>●算数科の主な課題</p> <p>2年生…形作り(26%) 3年生…20分前の時刻(36%) 4年生…球の切り口の形(47%)</p> <p>5年生…折れ線グラフ・変化(45%) 6年生…複合立体の体積(22%)</p> <p>●理科の主な課題</p> <p>4年生…種の観察 ホウセンカ(68%) 5年生…秋のヘチマの様子(36%) 6年生…いちばん強い電磁石(72%)</p>	<p>●国語科の主な課題</p> <p>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができているかどうか。(11.1%)</p> <p>・原因と結果など情報と情報の関係について理解しているかどうか。(50.0%)</p> <p>●算数科の主な課題</p> <p>・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えの求め方を式や言葉を用いて記述する。(27.8%)</p> <p>・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。(5.6%)</p>

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点課題となる領域	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年生</td> <td>読むこと</td> <td>図形</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>読むこと</td> <td>測定・データの活用</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>読むこと</td> <td>図形</td> <td>昆虫と植物</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>読むこと</td> <td>データの活用</td> <td>天気・雨水と地面・月と星</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>図形</td> <td>電磁石・振り子の運動</td> </tr> </tbody> </table>		国語	算数	理科	2年生	読むこと	図形	/	3年生	読むこと	測定・データの活用	/	4年生	読むこと	図形	昆虫と植物	5年生	読むこと	データの活用	天気・雨水と地面・月と星	6年生	話すこと・聞くこと	図形	電磁石・振り子の運動	<p>①NRTの誤答分析を全職員で行い、各学年の重点課題を把握し、改善計画を立案し、関係する単元をシラバスで確認する。</p> <p>②夏季休業期間を活用し、各学年の重点課題に対しての具体的な授業展開や指導の工夫について複数学年で協議し、協議したことを基に2学期以降の授業を行う。</p> <p>③夏季休業中に、重点課題となる領域に関する復習プリントを作成する。</p> <p>④ドリルタイムにアシストシートを活用し、重点領域以外についても対策を行う。</p> <p>⑤令和4年度に作成したNRT類似テストを使い、本番同様に実施・解説まで行う。</p>	<p>①7月</p> <p>②7月～8月(協議)</p> <p>③7月～8月</p> <p>④9月～3月末</p> <p>⑤実施・分析</p> <p>1回目 1月～2月</p> <p>2回目 3月～4月</p>	<p>○重点課題の単元のテストまたは、同等の評価テスト</p> <p>目標 全学年平均…80%以上</p> <p>結果 国語…88.6% 算数…87.4%</p> <p>○NRT類似テスト(学習済の箇所までを100%換算)</p> <p>目標 1回目…80%以上 2回目…85%以上</p> <p>結果 国語68.5% 国語77.2%</p> <p>算数60% 算数72.2%</p> <p>理科67.5% 理科78.3%</p> <p>◎1回目は、問題の理解に時間がかかり、問題を全て解くことができない児童もいたが、テスト後に解説、課題箇所の補習等を行ったことで、2回目の数値が向上した。しかし、目標を達成できなかった児童もいた。</p>
	国語	算数	理科																								
2年生	読むこと	図形	/																								
3年生	読むこと	測定・データの活用	/																								
4年生	読むこと	図形	昆虫と植物																								
5年生	読むこと	データの活用	天気・雨水と地面・月と星																								
6年生	話すこと・聞くこと	図形	電磁石・振り子の運動																								
<p>重点目標(何を、どのようにして達成するか)</p> <p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>○学習規律を徹底し、児童が安心して授業を受けられることができる学習環境を整備する。</p> <p>○各児童が意欲的・自主的に学級運営に参画し、自分たちの力で学級・学校を良くしていくこととする学級集団づくりを行う。</p> <p>○友達と良好な関係を築いていける学級集団を目指す。</p>	<p>達成のための具体的取組 (どのようにして)</p> <p>①各学年の担任が、ソーシャルスキルトレーニングを朝の帯タイムに定期的実施し、友達関係づくりの基礎力を養う。</p> <p>②児童が企画、運営して行うお楽しみ会を各学期末に行い、児童の自己存在感・自己有用感を向上させる。取組内容について交流する時間を設定する。</p> <p>③学習規律を各学級で徹底し、最後までやり切らせる。</p> <p>④「ほかほか言葉」及び「いいところ見つけ」のがんばり週間を設け、お互いの良いところを見つけた活動を行う。</p> <p>⑤各学級の問題を担任者会等の職員会議で共有し、学校全体で問題に取り組み、定期的に状況の確認を行っていく。</p>	<p>スケジュール</p> <p>①1週間に1度</p> <p>②毎学期末</p> <p>③毎日</p> <p>④毎学期</p> <p>⑤毎月の会議及び1週間間に一度を目途に隣の学年同士で確認</p>	<p>検証の指標・目標</p> <p>○QU2回目実施時、学級生活満足群の数値が、1回目の数値+5%以上、または、全学年で1回目以上の数値となることを目指す。</p> <p>学級生活満足群1回目…63.5%</p> <p>2回目…76.6%</p> <p>各学年の数値は、4学年が前回の数値を上回り、満足度が37%向上した学年もあった。2学年が前回と同じ数値となったが、数値は前回の数値より向上した。</p>																								

